

会報 京都マイコン研究会

第 104 号

1996年3月2日 発行

発行人 圓口佳昭

ニュースorトピックス

モチはもち屋

編集部 増田

昔の人は、よく言ったもので合宿と2月例会で熟演していただいた神賀氏は、NTTのことなら裏も表も、お任せなのです。禁句もしばしば飛び出し、さながらNTT放送局のようです。

その、熱弁に私達が陶醉してしまい、連続3回も講演して戴くことになりました。(何か、このままズーとして戴きたい秀囲気なのです。)

神賀氏の講演に続く第2弾として、(株)関西テレビ放送マイコンクラブ、会長 岩井宏安氏と中辻実氏に連続数回に分けて「テレビの受送信システム」と題して「文字放送の仕組み(第1回)」を予定していますが、皆さんの要望でいくらかでも拡張出来ますので参加、質問して下さい。

京都マイコン研究会では、今後専門分野に携わっておられる方々の知識や経験を毎月の例会で講演して戴くことになりましたので、書物や人には聞けない貴重な体験や、情報を是非お聞き逃しのないよう参加いただきますよう、お知らせいたします。

2月例会のように、久々に13名もの会員さんが例会に参加して戴きましたことは如何に、自分達が知り得たい情報が例会で講演して戴けるかにつきると感じました。求めるものを、必要なときにだれにだもわかりやすく提供できるのが今後のスタンスであって欲しいですね。

例会報告

2月3日 (PM. 6:30)

大山崎ふるさとセンター

| | | |
|-------|---|-----|
| 参加者氏名 | 圓口、岩井、中辻、若井、中西洋、増田、河原、若林、神賀、加藤、小寺、溝口、上田 | 13名 |
| 内容 | NTTのINSネット64について。京都、各支局のデジタル交換機への移行と、八幡支局の交換機の設備状況。 | |

次回例会

日時 3月2日(土) (pm.6:30)

場所 大山崎ふるさとセンター

内容 6:30 NTT、INSネット64の仕組みと課料システム。INSネット64の今後と早期接続のメリットについて。

神賀氏

8:30 テレビの受送信システムと文字放送の仕組み(第1回)

(関西テレビ放送)マイコンクラブ
岩井氏、中辻氏

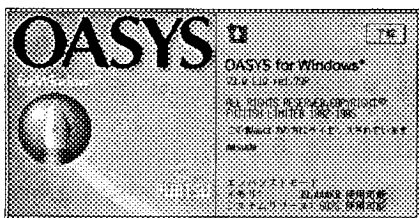
オリジナル文章のパラグラフ化をしてみては?

増田

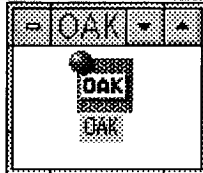
入力、編集、という日本人にとっては文書作りに欠かせない作業の一つです。現在は、文字を書かないといわれる新人類たちにいかに書かせるか、それが、これから文章を作成し編集するための重要なポイントなのです。いかに見る人に伝えられるか、視点によって伝わり方もずいぶんと違い。そこで、自分だけの文章をパラグラフ化してみれば、つまり、データベース化でその中でさらに選択肢を作るといふもの、これは、ワープロの辞書を文書に変えると考えて下さい。文書には季節文、挨拶文、前文、接続詞、敬語等と形容詞などを活用した全ての文章のどれを選択しても接続できるという、定型のスタイルが作れます。仮に1~9までのデータベースがあり1. のデータには、拝啓・前略・謹啓・拝復 2. では 新緑の候・初夏の候・寒冷の候 3. ますます・いよいよ・ 4. ご隆盛・ご清栄・ご活躍 5. のことと・のこと・で 6. お慶び申し上げます・何よりに存じます・などと文章を接続していきます。勿論、品詞などは自由に挿入出来、最後には一つの完成された文章が作成出来るのです。変幻自在の反自動文章作成システムが完成出来ます。みなさん作って見ませんか。

DTPワールド

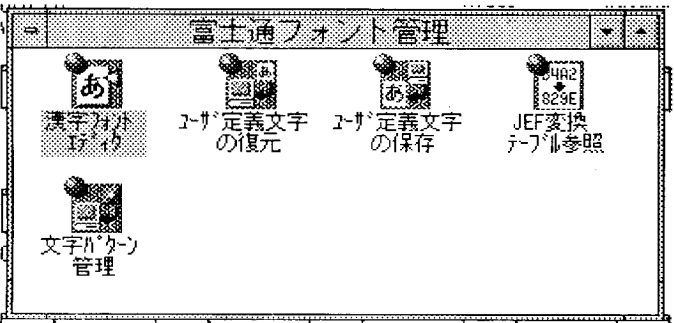
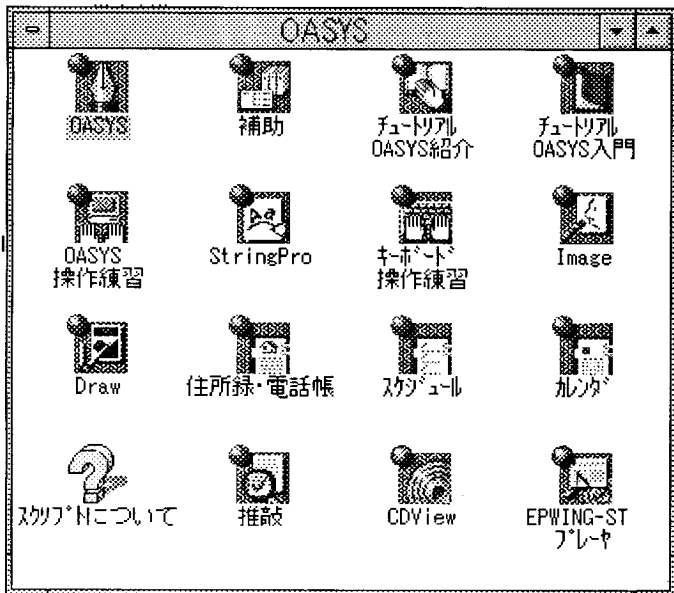
専用ワープロの代名詞。オアシスが、Windows95対応のOASYSv.3として登場。オアシスは初期から編集、入力専用機としてプロの人々や大学などでは知らない人はいないでしょう。そして、従来からのデータの継承には欠かせないワープロであり、また、数々の専用記号や外字、罫線類も豊富で文書作りには、これというプロの推すワープロソフトで、なかなかスッキリとして扱いやすく。一太郎よりもオススメするソフトです。



OASYS v.3をインストールすると、OASYS, OAK, 富士通フォント管理の3つのアイコンが作成され、Fontというディレクトリーが作られる。

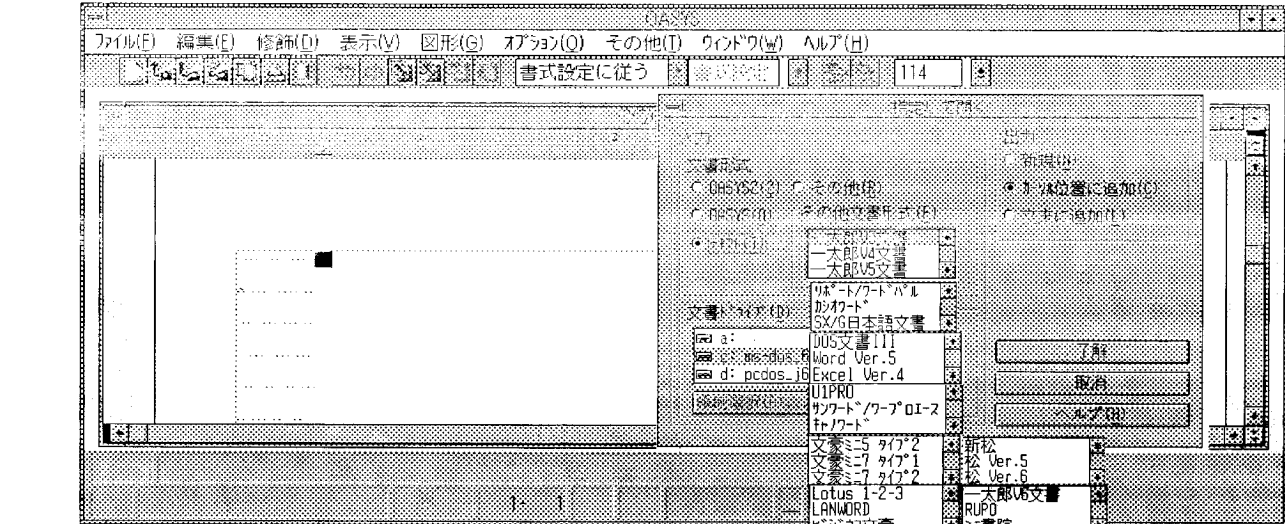


それらのアイコンの中と、Fontディレクトリーの中身を下記に表示しました。最下段のイメージはオアシスの初期画面です。余分な機能を付加せずシンプルな画面になっているでしょう。



- bf0ansvd.ofz
- bf0f01vd.ofz
- bf0f02vd.ofz
- bf0f03vd.ofz
- bf0f04vd.ofz
- bf0f05vd.ofz
- bf0f06vd.ofz
- bf0f07vd.ofz
- bf0f08vd.ofz
- bf0f09vd.ofz
- bf0f10vd.ofz
- bf0f11vd.ofz
- bf0f12vd.ofz
- bf0f13vd.ofz
- bf0f14vd.ofz
- bf0f15vd.ofz
- bf0f16vd.ofz
- bf0f17vd.ofz
- bf0f18vd.ofz
- bf0f19vd.ofz
- bf0f20vd.ofz
- bf0s01vd.ofz
- bf0s02vd.ofz
- bf0s03vd.ofz
- bf0s04vd.ofz
- bf0s05vd.ofz
- bf0s06vd.ofz
- bf0s07vd.ofz
- bf0s08vd.ofz
- bf0s09vd.ofz
- bf0s10vd.ofz
- bf0s11vd.ofz
- bf0s12vd.ofz
- bf0s13vd.ofz
- bf0s14vd.ofz
- bf0s15vd.ofz
- bf0s16vd.ofz
- bf0s17vd.ofz
- bf0s18vd.ofz
- bf0s19vd.ofz
- bf0s20vd.ofz
- ch_f.ex_
- ch_f.hl_
- chkjtbl.exe
- chkjtbln.exe
- fmb0cnv.dll
- fmb0cnv9.dll
- fmb1jef.dll
- fmb1jef.tbl
- fml7font.dll
- fml7g2f.fnt
- fml7g2f.fnp
- fml7g2fl.fnp
- fml7g2fu.fnp
- fml7i24.fnt
- fml7i30.fnt
- fml7i48.fnt
- fml7s1.fnt
- fml7s1h.fnt
- fml7s1l.fnt
- fml7s1u.fnt
- fml7s2.fnt
- fml7s2f.fnt
- fml7s2fh.fnt
- fml7s2fl.fnt
- fml7s2fu.fnt
- fml7s2h.fnt
- fml7s2l.fnt
- fml7s2u.fnt
- fml7w30.fnz
- fml7w38.fnz
- fml7w3f.fnz
- fml7w50.fnz
- fml7w60.fnz
- fml7w66.fnz
- fml8bdrv.dll
- fml8ben2.qry
- fml8deco.dll
- fml8drvn.@ll
- fml8math.fnx
- fml8oas.fnz
- fml8ttm.dll
- fml8vdrv.dll
- fml9dot.@on
- fml9dot.fon
- fml9fntn.@ll
- fml9font.fod
- fml9goth.@on
- fml9goth.fon
- fml9prnt.@on
- fml9prnt.fon
- fml9rmt.dll
- fml9rmt.int
- fml9rmtn.@ll
- fml9vect.fon
- fontins.exe
- fontinsn.exe
- fontver.dll
- kfe.exe
- oasfntt.110
- restfont.exe
- restfont.hlp
- savefont.exe
- savefont.hlp

プロが使う専用ソフトらしい、各種ワープロからのダイレクトな変換機能や、過去の専用機への変換など従来のオアシスをさらにバージョンアップし洗練された快適なワープロソフトをあなたも一度おためしを。そろそろ紙面がなくなってきたのでこの辺で失礼。又の機会に解説します。



Tomoppyの雑記帳
Tomoppy

◆ **KYOTO - INET の電話回線増設情報**

下記のようにお知らせを転載します。

差出人: query@kyoto-inet.or.jp
 送信日時: 1996年2月8日 14:07
 宛先: tomoppy@mbx.kyoto-inet.or.jp
 件名: [kyoto-Inet] telephone line and upper line

お知らせ:

皆様方には平素 kyoto-Inet をご利用頂きありがとうございます。いろいろな問題点を指摘頂いておりますが、我々もその解決にむけて徐々にではありますが努力しておりますので、ご理解の上ご利用頂ければ幸いです。さて、テレホーダイ等の影響で電話がかかりにくいという指摘を受けておりますが、我々も何度も電話の増設をNTTに要望してきました。局の交換機の新規導入が必要との事で待たされていたのですが、NTT側の工事が今月中に終了する事になりましたので、我々の電話回線を以下の様に増設いたします。

アナログ (V.34) / ISDN (同期 64K) 用電話回線
 増設回線: 46本 (計 161)
 増設時期: 3月初旬
 (※来年度始めにはさらに23本増設予定)

ISDN (非同期 38.4K) 用電話回線
 増設回線: 1本 (計 3)
 増設時期: 3月末

また、上流との回線が細いとの指摘もありまして我々としても通信速度を上げるべく協議をして参りましたが、上流プロバイダの東京=大阪間の回線速度が3月末に 768Kbps から 6Mbps に上がる予定ですので、そのタイミングに合わせて上流との通信速度を現在の 192Kbps 相当から 640Kbps 相当に引き上げることに致しました。工事の際には kyoto-Inet 外部との通信が一時停止しますが、悪しからずご了承いただきますようお願いいたします。

kyoto-Inet <query@kyoto-inet.or.jp>

< 付 言 >

これで、某氏が嘆いていた話中が解消したらと思っております、いかがなものでしょう。また、いくつか、辿り付けなかったWWも行けるようになると嬉しいと期待して良いのだろうか。

◆ **PCVANがインターネット接続用WWWブラウザを提供**

今年1月から、下記のようにPCVANをプロバイダとし

て、インターネット用WWWブラウザが提供された。このソフトは既に「People」では、昨年、春に配布されていたものと同じメーカーの製品である。但し、悲しいかな、接続先が変更や追加が出来ないので共通には使えない。

 TOMOPPさん インターネットコーナーようこそ。

「インターネットコーナー」が一部リニューアルいたしました。

現在、本コーナーを使いやすくするため、コーナーの整備を行っています。
 当面はいろいろご迷惑をおかけいたしますがよろしくお願ひします。

<NEW!>

★1 PC-VANの「WorldTALK」(J WTALK) コーナーにて、WorldTALK (¥1,000) のダウンロード販売を開始いたしました。

メニュー位置: 8. WWWブラウザ → 1. WorldTALK

★2 PC-VAN Mosaicに関連するコーナーが移動しました

メニュー位置: 8. WWWブラウザ → 2. PC-VAN Mosaic

これにともない、フォーラム(ネットサーフ)もPC-VAN Mosaic内に移動いたしました。お間違えのないようにお願いします。

★3 フリーダイヤルでPC-VAN Mosaicのダウンロード可能に!

| ファイル名 | 登録日 | サイズ | 料 金 |
|-----------------|----------|---------|-------|
| 1. WTLKP14A.EXE | 96/01/31 | 0524342 | 1000円 |
| WTLKP14A.DOC | 96/02/08 | 0002793 | |

(WorldTALK for PC-VAN Ver1.4A (要Windows3.1/Windows95))

ファイル名: WTLKP14A.DOC
 登録者: WTALK
 登録日: 96/02/08
 サイズ: 0002793

【名 称】 WorldTALK for PC-VAN Ver. 1.4A
 【登録名】 WTLKP14A.EXE
 【制作者名】 テニック(株)

【掲載者名】 NEC PC-VANサービス販売本部
【解凍形式】 LHA自己解凍

PC-VANのWWW接続サービス第1弾「PC-VAN Mosaic + PCVANナビゲータ」では、PC-VANの世界とWWWの世界とシームレスに接続することを実現しました。そして、第2弾として、PC-VANのアクセスポイントから直接WWWの世界へ接続を可能にするサービスを開始いたしました。このサービスの利用には、この新開発の専用WWWブラウザ「WorldTALK for PC-VAN」が必要です。

WWWサービスのみを快適に利用したいユーザや前回のサービスの利用環境に到らなかったユーザに適したサービスといえます。

「WorldTALK for PC-VAN」の特徴は以下の通りです。

- ・標準的な動作環境で利用できる。(メモリ 4MB以上)
- ・コンパクトなアプリケーションである。
(インストール前でFD1枚分のサイズ)
- ・パソコン通信専用WWWブラウザ
- ・キャッシュ方式や多彩なデータ取得モードによる高速動作

環境の実現

◆ パソコン通信専門商業NETの存亡と価格競争

(Tomoppy)

インターネットの急速な関心と共にプロバイダの急増に、既存の商業NETの危機が迫っている。その発端はIBMやMSが発売するソフトに自社のネットワークに接続しやすいようにすべてが設定されていて、有無を言わずにそのNETへ加入できるようにした。

また、インターネットと従来の商業NETの内容に違いが無いことやWWWブラウザで画像をオンラインで見えるインターネットの方に軍配が上がったことがあって、各社からビジュアルな通信ソフトやインターネット用のWWWブラウザのソフトを低価格(¥1,000円)を提供して自らプロバイダの業務を行うようになった。

一方、価格の方は、PCVANが高速回線(28800bps、従来は、19800bpsまで)を開設と共にその料金体系を時間制限の定額料金と従量料金をNIFTYの高速料金の25%引きの価格へ昨年の秋に改訂した。それに刺激されて、NIFTYも28800bpsを開設して、今春から、すべての料金体系を値下げする。

パソコン通信が開始されて約11年目にして大きな節目に来ているようだ。

◆ ISDN64への加入

(Tomoppy)

神賀さんから、ISDNに関する技術情報を教示頂いたが、一般の商業プロバイダに接続しようとすると料金体系が異なることや関西にISDN接続出来るプロバイダが少ない。やは

り、現在の電話番号を変更するには、個人住宅電話としては抵抗がある。

ハード関連であるが、超低価格なISDNターミナルアダプタは、DSU接続器を加えると沖電気や日電のDSU内蔵のターミナルアダプタの方が安く、設置工事費用が不要である。

◆ パソ通マニユアへの朗報

(NIFTYのSEE YOU ONLINEからの転載)

NTTにおいて従来のキャッチホンでは、パソコン通信中に外部からコールされると勝手に切断された。「キャットホンII」を申し込むとNTT局側で留守番電話機能と同じ操作をして、パソコン接続完了すると局側から電話でメッセージの通知をしてくれる。

◆ Tomoppyの愛機のグレードアップの予定

初代のPC9821AS(33MHz)も約2年目を迎えた。世の中のマシンは100MHzが普及機となったので、買い替えを計画中であるが、去年は稼ぎがめっきりと少なかったので、我慢の最中である。ところが、メルコから、CPUのグレードアップ(33MHz → 100MHz)と拡張メモリ14.6MBの制限を乗り越えて、8MBを足せるボードが売られていることを知った。そこで、内容を質問したら、現在、すでに増設している8MBが日電か、メルコでないと動作保証しないと告知された。それにもめげずに注文しているので、次号にはその顛末を知らせる。(拡張メモリが増えたら、どんなご利益があるか楽しみ)

◆ E-MAIL(インターネット電子メール)の良さを実感

(Tomoppy)

MS-Windows95に付録している電子メール機能のMIMEを使って、インターネットへ加入している個人にバイナリまたはASCIIのファイルをメールに添付して送受信を行った。個人当りにバイナリ・ファイルを転送しようとする個人のマソコン間に電話回線を設ければよいのであるが、手続きが面倒なのと電話回線を独占することから、パソコン通信NETを利用して、郵便局のよう一時預けをして、指定した送金相手は時間の制約無しにファイルを手にすることでファイル転送を行っていた。この方法でもいろいろな操作が必要で不便であった。

インターネット用に提供されている電子メール転送ソフトは驚くほど便利になっており、先に説明したようにASCII形式のメールに伝言を書き入れて、バイナリなどのファイルを簡単な操作で添付(埋め込むと表現したほうが判りがいいかも)して送れる。そのため、写真や絵画などの画像データ、さらに、一太郎・ワードなどのわーぶろ文書、各社の表計算のデータ・ファイルなども問題無く、簡

書、各社の表計算のデータ・ファイルなども問題無く、簡単に送れる。こんなことが出来るとは4・5年前には想像もつかない機能が付いたインターネット関連の電子メール・ソフトの良さを実感した。

◆ C言語の完全マスター

(Tomoppy)

元職場の会社から、電子式測定器のデータ処理に関するソフトの注文が舞込んだ。処理内容は、ありきたりのもので、アナログ信号をデジタル化とその電圧数値を長さ単位に換算と平均値計算、数値桁数の整理およびデータ印刷するものであった。

ユーザからはソフト開発言語に関しては特に指定されていなかった。始めは、慣れたN88BASICと思ったが、64Kバイトの壁を考えると、過去にやり繰り返しの苦勞することがあったことと、この数年、小規模のマイコンボードのソフト開発にC言語を使って、かなり習熟したことから、C言語を使うことにした。しかし、マイコンボードとはことなり、モニター画面への表示やフロッピーディスクへ保存、プリンタへの印刷など、未経験のプログラミングがあって、それを操作する関数を作るのが大変だなど思いつつ、ソースを書き始めた。

ところが、8ビットのC言語時代と較べて、便利な関数が沢山用意されているのに驚かされた。特に、PC98専用の関数も多くあり、画面のテキスト・モード用やグラフィック・モード関数あったので、少し楽なソースを記述できた。

作り上げたソースでコンパイルして実行する悲しみや喜びの数々を体験した。その内容を列挙すると、

1. 実数と浮動小数変換の扱い（キャスト指定の誤り）
2. 構造体を理解するのは大変だが、記述する変数が簡単で便利なことを実感
3. 実数同志の除算から、浮動小数変数型へ引き渡せない（子数が浮動で母数が実数なら、引き渡せる）
4. While文とFor文を組み合わせたLOOP文を実行すると判定式の変数が勝手に変化して、勝手に無限LOOPする
5. グラフィック画面の描画するラインやパターン、全角文字などの関数はC言語コンパイラの関数で完成した
6. ファイル操作の関数でリードやライト、アペンド

のオプションによって、EOF以外の制御コードをリードやライト動作で付加し、アペンドのときは、その制御コードを含めて保存するから、再度、リードすると追加した内容を表示しない

以上のような体験して完成した。もう、どんな難しいルーチン作業の開発依頼があっても自信ができた。でも、世の中は、Visual C++言語時代に入っているが、この開発環境のハードは、巷のマシンより、メモリ搭載は32MBは最低必要だし、準備してもそれに関連するソフトは安くても、それをサポートするソフト・メーカーの年間契約金が高いから、とても零細企業では投資ができるゆとりはないし、契約が取れそうもない。困った時代に入った。

◆ 最近のソフト開発依頼内容の変化

(Tomoppy)

Windows関連のデータ・ベースや表計算のマクロ言語または、VB言語で定例の業務文書作成ルーチン用のソフト開発依頼が多くなる傾向がある。昨年、夏頃に某ソフト会社役員をしている方の話は、MS-Accessのマクロ言語でソフト開発を行っているとのことでした。確かに、企業内のパソコン・マニュアルが自分の業務処理に興味で作っていた時代は終わったようだ。昨年から企業内LANの構築ブームとともに個人保有の財産でないデータが多く発生すると同時に標準化された様式の帳票や文書が要求されるようになった。その作成に当たっては、個人的趣味の方々は依頼されても本来の業績を問われることから、敬遠するのは当然です。結果として外注をせざる得なくなる。これは、大企業での話で、最近、これと同じ話の引き合いがあった。

MS-Windowsが広まったことから大企業だけでなく、中小においても同じ要求があるだろうし、その企業特有のソフトを他の言語でソフト作るより、Accessなどのマクロ言語で作るソフト屋さんが多くなるだろう。そのメンテナンスを専門とするソフト屋さんも多くなるであろう。

このような傾向は計測制御やFA関連の技術雑誌に多く掲載されるようになった。それは、電子計測器などの出力信号の数値を表計算シートで自動転送、逆に、シートにコーディングしたデータを制御機器（例えば、数値制御工作機、ロボット）へ指令コマンドを転送するなどの記事が目立つようになった。

物には限度 WINDOWS 95 対応のアプリケーションソフト

増田

日本語ワープロソフト。オアシス v.3 に続き一太郎 v.7 が発売され32ビット対応のワープロソフトが揃ったことで、各社の思考とターゲットが見えてきたように思われます。一太郎やMS-ワードなどのように、ワープロなのかグラフィックか表計算なのか、なんでもかんでも詰め込んでしまう。一般の人にとっては多機能だと選択するときには思うでしょう。しかし、いざ使用してみれば、複雑で奇々怪々な、ソフトに振り回される結果となっている人が多くありません。それはそうでしょう、グラフィックのアプリケーションを操作するだけでも半年かかり、表計算でも同じことがいえます。まして、年に何度使用するかわからない操作を覚えて置ける人は、そうはいないと思います。大きな荷物をしょいながら、操作するのはコックイに見えて来ます。プロに徹したオアシスは荷物をしょわずに、餅はモチ屋ということでしょうか、分離しているのです。軽くシンプルで、一つの仕事に徹して操作でき、作業効率上がる。プロの現場の従来からの原則を忠実に実行しているのです。CDで提供されているオアシスのなかには200数メガバイトのイメージファイルがあり、総数で約500メガバイト弱。

かみ が しげ よし 神 賀 重 善

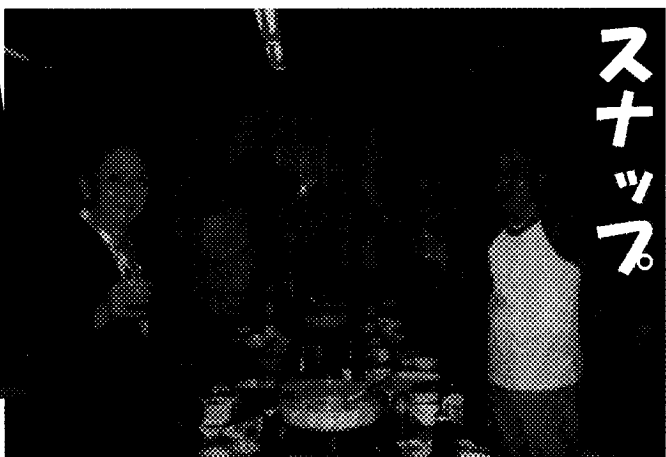
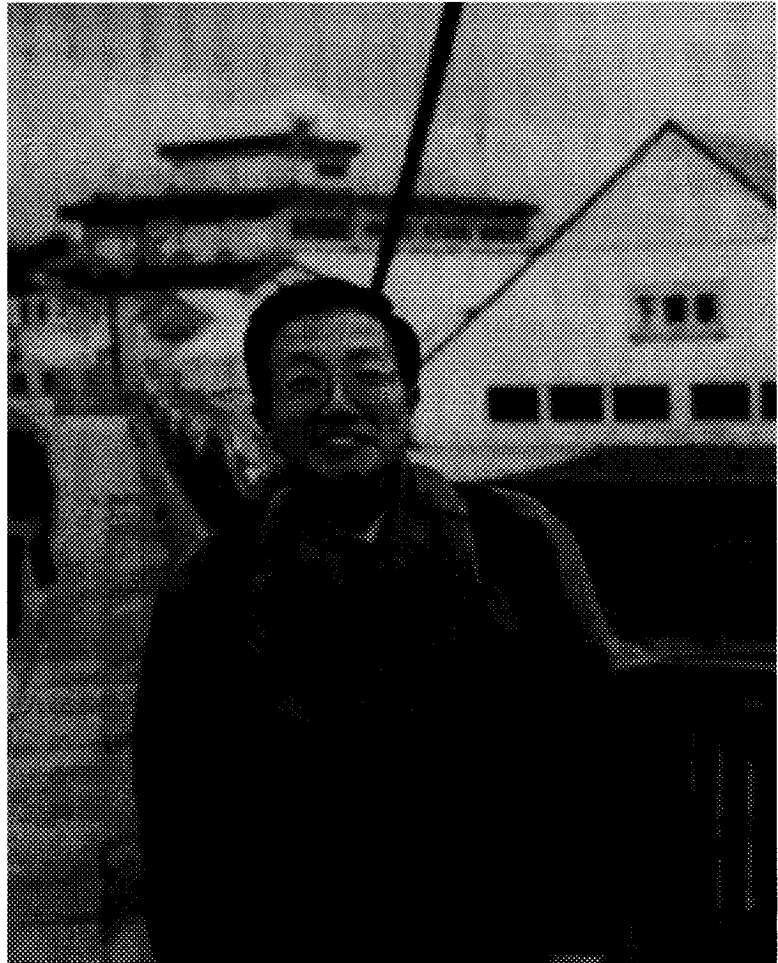
私は当会に'89年(S69)6月に入会してから、ただ諸兄の後をついて行くだけで精一杯でした。しかし自分にはこの会に席を置かせていただいていることが誇りであり、パソコンライフのよき学校です。

私とパソコンの出会いは、'80年頃PC-8001からでした。これまで他の会員の方が書かれているように、プログラムはカセットからでした。CLOAD“○○”として数分から数十分も待ったあげく「ピッ」とロード失敗になる事もしばしばで、子供たちにもよくからかわれました。

親父の面目回復のため知恵と努力で発奮してPC-8001を改造し伝送速度を2400bpsにし波形補正回路をつけ自慢したものです。また外部にいろいろな基盤を付け選びました。カセットを引いた魔女のような声を発生するボードを付け、粗末なプログラムでラジオのタイマーを作りましたが、これが思わぬトラブルに会いました。つまり当時のPC-8001なる源初のパソコンはノイズ等には一切おかまい無しだったので、タイマーONでラジオが鳴りはじめると同時にすざましい雑音が音の世界を占領します。PC-8001のカセットのモーターSWをリードで引出しループで出力していたためこれを伝ってノイズがラジオに入ります。電線を使うと駄目と分かり、1m程の木の端にマイクロモーターをつけこの軸に木綿糸を巻き、それをもう一方の端につけたマイクロスイッチに結び付けON-OFFをさせ見事成功しました。そこで気を良くしてプログラムに手を入れラジオの録音が済むと、先に造った発声回路から「ごしゅじんさま、ごしゅじんさま ろくおんができました」と言わせ、「うん、よしよし」と一人で王様気分喜んでいました。そんな今となれば良き時代のパソコン生活が懐かしく夢があったように思います。

でもこのマイコン研究会に来ればいかに時代が進んでも、いつもトロンキーでかつI初キッシュな諸兄には少年の夢のように爽やかで温かい友情が溢れていてやすらげます。ここは決して機械に使われない人達のコステックな楽しい世界です。

コンピュータの知識も今一つで、財力のほうも年末ジャンボの夢も破れた私ですが、MHVの夢だけは持ちつづけたと思いますのでこれからもよろしく願いいたします。



スナップ

一九九六年新年会